



医療法人 みどり会 枚方市藤阪中町3番20号 ☎072-868-2071
URL <http://midori.jp.org/> E-mail midorii@io.ocn.ne.jp

社会福祉法人 松樹会 枚方市交北2丁目10番1号 ☎072-898-2197
URL <http://www.syoujukai.org/> E-mail ikoinosato@syoyukai.org

編集責任者：理事長 中村 猛
編 集：季刊誌編集委員会

第78号御挨拶

理事長 中村 猛

皆さん、こんにちは。

9月も半ばに入り昼夜等分の秋分の日が近づいてまいりましたが、日中の猛暑はすさまじく中々衰えをみせません。

先日、京都洛北の名刹、大覚寺の“観月の夕べ”に、ある誘いを受け、行ってまいりました。約1200年前の平安時代初期にタイムトンネルをくぐり、大沢の池に浮かべた屋形船から夜空を見上げ、流れる雲の合間から姿を現す朧月を眺め、いとも風流な一刻を過ごさせて頂きました。きっと見下ろしているお月さんには人間社会の支配する下界が平和で豊かな発展を遂げているとお思いでしょうか？とふと考えさせられました。

現実に戻ると、日本の政局も大きく揺れ動いております。次期のリーダーは政治とカネの過去の清算を行い未来の政治システムを透明性ある、若い世代が活躍できる場に政治改革を行ってほしいものです。又、民主主義を謳歌する中

で是非とも貧富の格差を是正し、中産階級を軸とした平等な安定した社会が構成されれば、少子高齢化の歪な人口動態も解消されるのではないのでしょうか。我々国民が積極的に政治参加して、国民主導の夢と希望にあふれた社会の実現に向かって邁進していきたいものです。

残暑なお厳しいですが、朝夕は少しずつ凌ぎやすくなり、秋虫のさえずりが聞こえてまいります。スポーツと芸術、文化のシーズン到来は今そこにやってきました。充実した毎日を期待いたします。



新人合宿研修

人事部 上田 爽太

毎年恒例の新入職員による開田高原「みどりの樹」での新人合宿研修に、7月25日と26日の2日間、参加させていただきました。私も新入職員ではありますが、人事部として引率し、時には新人として研修に参加することができました。この研修は、普段関わることのない他部署との交流の場でもあり、自然豊かな環境で貴重な時間を過ごすことができました。入職から半年が経ち、この間に新人合宿研修で学んだように、一人ではなくチームとして協力しながら業務を進めることの重要性や、コミュニケーション、周囲に助けを求めることが業務の効率化に繋がることを実感しております。今後も学び続ける姿勢を忘れず、一步一步着実に成長出来るよう努めてまいります。引き続き、御指導宜しく申し上げます。





糖尿病とスティグマ

院長 高橋 輝

スティグマという言葉をご存知ですか。日本語では「不名誉な烙印」「悪い印象のレッテルを貼る」といった意味になります。周りの糖尿病患者さんに「食べ過ぎたらあかんで」とか「糖尿病やから」と言ってませんか。「生活習慣病」という言葉も問題なのですが、糖尿病＝生活習慣病⇒生活習慣が悪いから糖尿病になった、という誤解を受ける構図になっています。糖尿病は生活習慣病の側面もありますが、肥満でなくても糖尿病になる方が日本人には多いと言われており、糖尿病患者さんの摂食量は健常者と変わらないこともわかっています。スティグマという言葉は提唱して、糖尿病患者さんが不当な抑圧を受けないことを目標に学会等で活動を行っているのですが、糖尿病に対するスティグマの解消は、これから糖尿病になる、かも

しれない皆さんのためにも必要です。もしも、皆さんが糖尿病になったら、あなたが「糖尿病やから」と言われたらどう思いますか。「糖尿病やから」と言われたくないがために、健診で糖尿病疑いと指摘されても病院を受診せずに放置してしまう、といったことが生じる可能性があります。昔から糖尿病患者さんの半数程度は医療機関を受診せずに放置していることが問題になっています。糖尿病は完治するものではなく、長く付き合っていく必要がある病気ですのでやっかいですが、治療により糖尿病患者さんの寿命は通常の方と同じになっています。糖尿病を受け入れて向き合っている患者さんを温かく見守ってあげて下さい。

障がい福祉サービス

「さんさんグリーン開所式」

さんさんグリーン 施設長 新 免 修

8月3日(土)中村病院4階大ホールにて開所式を執り行いました。当日は中司宏衆議院議員、伏見隆方市長をはじめ、約80人の来賓に加え、さんさんグリーンのろう者15人も出席しました。聴者(耳の聞こえる人)中心の社会では、手話が第一言語のろう者はマイノリティです。式典には手話通訳者も配置し、ろう者も共に新たな門出の喜びを分かち合うことができたことを大変意義深く感じます。また、皆川芳嗣元農林水産事務次官、村木厚子元厚生労働事務次官、義本博司元文部科学事務次官、田畑裕明衆議院議員(元総務副大臣)、進藤金日子参議

院議員(財務大臣政務官)、山本かなえ参議院議員(元厚生労働副大臣)、大隈和英前衆議院議員(元厚生労働大臣政務官)、東京大学・中津先生、千葉大学・吉田先生、東海大学・濱田先生、東京農業大学・町田先生、筑波大学・大村先生、関西学院大学・前川先生、下谷先生、金城学院大学・橋川先生、早稲田大学・森先生など、祝電もたくさん頂戴し、皆様の期待の大きさに身の引き締まる思いです。さんさんグリーンが枚方になくてはならない事業所となるよう、今後も精進してまいります。



中村記念クリニック・みどりの館

施設との連携

中村記念クリニック 訪問リハビリ 尾崎・若狭

9月も中旬に差し掛かり、本来なら秋の気配を感じる時期ですが、まだまだ厳しい暑さが続く今日この頃…皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、中村記念クリニックのリハビリは、外来や訪問に加え法人の特別養護老人ホームやグループホーム、ケアハウスとの連携にも取り組んでおり、今回はそのご紹介をさせていただきます。

上記施設のご利用者は、制度上個別でのリハビリ提供が難しいですが、実際は必要性が高い方もおられます。そのような方に対し、『生活機能向上連携加算』という介護保険制度を利用して関わらせていただいております。看護・介護スタッフの方

々と協働し、リハビリの視点から日常生活の中で取組める活動を提案することが主な役割となります。具体的には、残存能力を活かした動作介助の方法・1日の過ごし方(座って過ごす時間作り)・ベッド上でのポジショニングなど、各ご利用者の状態に合わせた提案をさせていただいております。個別のリハビリとは違い、ご利用者の日々の生活をイメージしながらの間接的な関わりになるため、難しさと共にやりがいを持ちながら日々取り組んでいます。

今後も、地域の皆様に広く貢献していけるよう精進してまいります。



地域社会の「生涯活動の場」としての役割

通所リハビリ 主任 末松 邦堂

なごみの里 QR



コロナ禍という未曾有の事態の中、感染リスク軽減のため私たちなごみの里通所リハビリもほとんどの活動が中止・自粛に追い込まれてしまいました。その中で通所リハビリが担う役割が入浴やリハビリを提供し、利用される皆様の身体状態の安定や運動機能の維持・向上を目指すだけが目標ではなく、利用される皆様にとっての“生きがい”に繋がる場所になっていることも重要であると再認識する事が出来ました。

「以前はよく通っていた喫茶店には行けなくなってしまったけど、なごみに来たら喫茶コーナーがあるから昔みたいに楽しいひと時が過ごせる。」「趣味にしていた庭仕事が出来なくなったが園芸レクリエーションのお陰で作った作品を手入れするという仕事が出来た。」「家では独りだから話をする機会もないけど、うたの会のお陰で皆と一緒に大きな声で歌って気分が晴れる。」活動を行う中でそういった声を聞く

機会があり、様々な活動を通じて利用される1人1人にとってのQOL（クオリティオブライフ）の向上を目指せる場所、生涯活動の窓口となれる環境を作り上げる事が、私たちの取り組んでいく役割であると改めて感じました。

コロナも5類となり、色々な制限も解除されていく中、先述した活動の他にも地域ボランティアの皆様と連携し演奏会等のイベントも増えてきています。また、新しい活動として「陶芸教室」を再開する事になりました。陶芸家指導の下で、土に触れる・自分で考えたオリジナルな作品を作る・実際に作った作品を自宅ですべて等、物作りを通して色々な楽しみを味わって頂ければ幸いです。

これからもご利用される皆様にとっての生涯活動の場となるよう、より良い通所リハビリを目指して日々努力していきたいと思ひます。

在宅支援



長尾の里が目指す介護

デイサービスセンター長尾の里 リーダー 福島 恵美

1日定員10名、スタッフ6名の小さな事業所であるデイサービスセンター長尾の里。

スタッフ全員の経験と知識を持ち寄り、利用者様お一人お一人がその時々に必要なとされていることや思いに可能な限り寄り添いながら、利用者様にとって居心地の良い居場所となるよう日々努めています。

デイサービスをご利用頂く目的はそれぞれですが、多くの方が入浴が一番の目的とし、個浴での入浴は会話を楽しまれ、時に胸の内を打ち明けられるなど深い関わりが築けるきっかけとなっています。

そんな入浴サービスにおいて、『限られた時間内に極力ご自身のペースで入浴して頂きたい。午後からのレク活動等の充実を図りたい。』そんなスタッフ皆の想いから、その為にはどうすればいいか？何が出来るか？を考えました。無謀かもしれないが、まずやってみる。都度、利用者様の立場に立ち、業務優

先にならないよう日々試行錯誤しながら軌道修正し、より良い方法を見出し何とか確立して参りました。

行事では、利用者様各々のニーズに近づけるよう選択性の外出行事を試みました。公園で季節のお花をみながらお茶の時間を楽しみ、ピクニック気分が味わえるコースと公園散策後に喫茶店でお茶を楽しむ2つのコース。

どちらもちょっとした非日常となり、事業所に戻られた時の皆様の表情は格別で「楽しかったよ〜。ありがとう。」と沢山の嬉しいお言葉を頂きました。

小さな事業所ではありますが、法人内の他職種・他事業所の方々に相談ができ、助けて頂ける環境はとても心強く、老健併設のデイサービスならではの強みを生かし、今後も長尾の里と関わる方々との繋がりを大切に利用者様に寄り添って参りたいと思ひます。



孤独は「1日15本の喫煙」に相当します

枚方市地域包括支援センターみどり 所長 伊内 康宏

包括みどり QR



とあるきっかけがあり、孤独は「1日15本の喫煙」に相当する健康への脅威という、非常にショッキングなニュース（Forbes JAPAN記事）を目にしました。引用すると、米国公衆衛生局長官のレポートで、「15本分のタバコと同等というたとえば、慢性的な孤独の体験が、さまざまな慢性疾患を引き起こすリスクを高めるといふ観察結果が出た」というものです。また、別のデータによれば、「社会とのつながりが少ないことは、喫煙、過度の飲酒、肥満より死亡率が高い」と示されています。

今後、単身世帯の増加が見込まれているので、孤独・孤立

の問題の深刻化が懸念されています。国では対策のため、重点計画を策定しており、令和6年4月から枚方市においても取り組み事項が決定してくようです。先日、私ども包括みどり主催で、サービス拒否やネグレクトを含めた孤独・孤立に関する研修会を開催しました。

自分事として考えれば、禁煙も節酒もダイエットも一人で行えるけれど、「社会とのつながり」をつくり、大切にしながら取り組んでいくことが、とても健康にとって大事なのだと思っております。



松樹会にも社員寮が完成しました

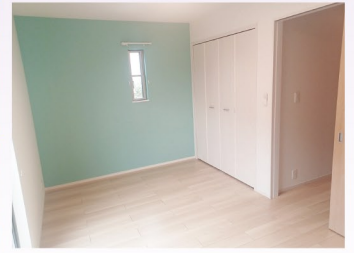
いこいの里藤阪 施設長 岡崎 基

中秋の名月も終わり暦の上では秋ですが、残暑が厳しくまだまだ夏の装いですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

さて、松樹会では現在、介護の人材として外国人の方が多く活躍されるようになりました。正職員での外国人スタッフはベトナムから9名、中国人1名の合計10名が活躍しています。外国人スタッフが安心して働くことができるためにも「住まい」は大切な要因の一つです。従来は、学研都市線での「住まい」が中心であったため、限られたエリアの施設でしか勤務出来ませんでしたが、この度枚方市の公募事業を活用した社員寮を8月に工事を終え、9月より社員寮「ぐりーんはうす いこいの里」として完成しました。枚方市中宮東之町のサテライトいこいの里の敷地を活用しているため、勤務できる施設も幅広くなりました。

これからは、外国人スタッフも働く職場を選ぶ時代となりつつあります。外国人スタッフが安心して働くことができる

よう、仕事だけでなく生活面のサポートケアができる職場環境を目指していきたいと考えます。



いこいの里 敬老会

地域交流委員会一同



いこいの里では、一番のお姉さん、103歳の方が元気に過ごされています。

今年は9月16日敬老の日に敬老祝賀会を開催しました。

今年はダンスチーム「HEART DANCE STUDIO」の子どもたちがダンスパフォーマンスでお祝いをしてくれました。

小さな体で一生懸命踊っている姿に利用者の方は目を輝か

せ、手拍子をしたり、一緒に踊ったり、とても喜ばれていました。

敬老会の看板は、ショートステイのご利用者に手形を押してもらい、ステキな看板に仕上がりました。

これからも地域の方々と多くの交流ができるように活動していきたいです。



各施設連絡先

医療法人 みどり会

中村病院	072-868-2071
中村記念クリニック	072-868-2070
介護老人保健施設 なごみの里	072-868-2072
サテライトなごみの里	
デイサービス 長尾の里	072-818-2071
有料老人ホーム みどりの館	072-868-2727
グループホーム たんぼぼ長尾	072-868-2195
ケアプランセンター なごみ	072-818-7533
訪問介護ステーション みどり	072-868-4392
地域包括支援センター みどり	072-845-2002
障害福祉サービス パラグリーン	072-867-3377
障害福祉サービス さんさんグリーン	072-807-3356
研修所 みどりの樹	0264-44-2550

社会福祉法人 松樹会

特別養護老人ホーム いこいの里	072-898-2197
デイサービスセンター いこいの里	
サテライト いこいの里	072-849-2210
特別養護老人ホーム いこいの里藤阪	072-868-2192
特別養護老人ホーム いこいの里長尾	072-868-1893
デイサービスセンター 長尾	072-868-2190
ケアハウス つくしんぼ藤阪	072-868-2191
グループホーム たんぼぼ藤阪	072-868-2197
グループホーム たんぼぼ田口	072-898-2193
小規模多機能ホーム ふじ	072-868-2193
看護小規模多機能ホーム ながお	072-868-1894
障害福祉サービス ミルキーウェイ	072-867-5690

ルー ク山田眼科 072-868-0880

編集後記

皆さま、こんにちは。10月に入りようやく暑さが少し和らげられました。季節の変わり目ですので体調管理に気を付けてください。

私は盆明けに、福井県へ旅行に行ってきたのですが、ふと立ち寄った現地のスーパーで普通に米がたくさん売っておりビックリしました。ホテルの方に大阪での米不足の話をしたところ、こっちは特に品薄と言う事は無いですとおっしゃられておりました。月に20kgは消費する我が家では思いがけない米との出会いに感謝し一番高いお土産となりました。

みどりの風編集委員会
連絡先 ☎072-868-2071